

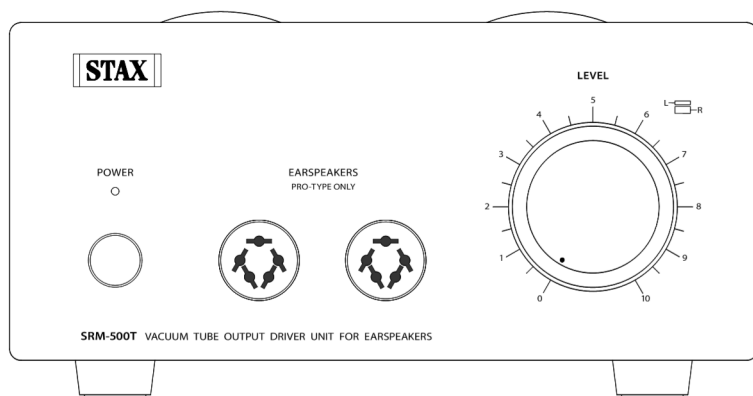
SRM-500T

VACUUM TUBE OUTPUT
DRIVER UNIT FOR EARSPEAKERS
(Amplifier for STAX Headphones)

取扱説明書

このたびは、スタックスのイヤースピーカー専用ドライバーユニット SRM-500T をお買い上げいただきましてありがとうございます。

SRM-500T の音質、性能、機能をフルに発揮してお使いいただくためにこの説明書をよくお読みの上、末長くご愛用いただけますようお願いいたします。
お読みになったあとは保証書とともに必ず保管してください。



この製品は高電圧を内蔵しています。危険ですので絶対に分解したり改造したりしないようお願い致します。

RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN!

The SRM-500T contains high voltage circuitry.



It is dangerous to disassemble or to remodel it. Please observe Don'ts.

STAX®

1.安全にお使いいただくために（初めにお読みください）

●ご使用前に・・・図表示について

この説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな図を使用しています。その表示を無視し、誤った取扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
左の例は感電注意



この記号は禁止の行為を告げるものです。
左の例は分解禁止



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
左の例はプラグをコンセントから抜く

警告



- ぬれた手で電源プラグまたはイヤースピーカーのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 表示されている電源（本機は交流 100 ボルト専用です）以外は使用しないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしないでください。
- 放熱用の上面の通気口は塞がないでください。
- 本機の内部に金属・液体・物等を入れないでください。
- イヤースピーカー用出力端子に触れないでください。



- 煙が出たり、異臭、異音がしましたら、すぐに使用を中止して電源を切ってください。そのまま使用すると、火災・感電などの危険性があります。お客様が修理されるのは危険です。修理は販売店か当社サービス課までご依頼ください。



- 底板やトップカバーは外さないでください。
- 分解または改造をしないでください。

注意



- 本製品は以下のような場所に置かないでください。ケガおよび故障の原因になることがあります。
- 振動または衝撃が加わる場所や傾いた場所や直射日光のあたる場所。
 - 水気・湿気・ホコリの多い場所。
 - 温度差の激しい場所または熱を発生するものの近く。（ストーブ、ヒーター等）
 - 本機の上にイヤースピーカーや物を置かないでください。
放熱穴を塞いでしまうと発熱して本機の故障に繋がります。



- 落としたり、衝撃を与えたりすること。
- 音量を上げすぎない：大音量で聴くことは耳を痛める原因になります。やや控えめな音量で聴くことは、耳のため製品のためにもお奨め致します。

2.ご使用方法

- 接続の前に「パワースイッチ」がオフになっているのを確認してください。(4 ページ参照)
- ソース機器の音声出力端子、RCA ピンジャック又は XLR コネクターに接続します。
RCA 接続する場合は、付属のケーブルをご使用下さい。
XLR 接続の場合は市販のケーブルをご用意ください。
本機は、XLR 入力又は RCA 入力いずれもご使用になれますが、入力信号の切り換えはできません。
ご使用にならないほうのケーブルは必ず外してお使いください。(排他使用です)
- 本機の XLR の極性は②番が HOT です。③番 HOT の機器に接続する場合は、極性変換のケーブル又はアダプターをご使用ください。
- リアパネルの AC インレットに付属の電源コードを差し込み、プラグを AC100V のコンセントに差し込みます。
- イヤースピーカーをフロントパネルのイヤースピーカーコンセントに差し込みます。
- 電源スイッチを押すと、橙色 LED ①が点滅します。真空管のヒーターが十分温まるまで、約 30 秒程度お待ちください。点灯状態になるとご使用になれます。
- ボリュームツマミを徐々に右に回して最適な音量に調整してください。
2 重ツマミの手前を単独で回すと左チャンネルが、奥を回すと右チャンネルが調整できます。
左右の音量のバランスはこれで調整します。
- プリアンプ・プリメインアンプの「REC OUT」端子で十分な再生音量が得られない場合は、PRE OUT 端子に接続してください。
- 上記以外の接続方法：ミニ・ステレオジャックの端子を持ったソース機器に接続する場合。
市販のステレオ・ミニプラグ→RCA プラグの変換ケーブル又は変換プラグを使用して接続することができます。
音量の調整は、通常のヘッドフォンをお使いになる音量にセットし、SRM-500T のボリュームで調整してください。

3.使用上のご注意

- 本機の内部には高電圧の部分がありますので危険です。トップカバーまたは底板を外しての使用、水に濡れやすい場所、またはホコリの多い場所・高湿度・高温の場所で使用しないでください。
 - 本機は発熱しますので本体上下の通気口を塞がないでください。
なるべく風通しの良い場所に設置してください。
 - ラックなどに収納する場合は本機の天面から 5cm 以上あけ、ラック壁面との隙間も 5cm 以上離して設置してください。
 - 本機は立てて使用しないでください。
- イヤースピーカーは低びずみのため、思いのほか音量を上げ過ぎる場合があります。
大音量で長時間の視聴は、耳のために良くありませんのでご注意ください。
- 本機はパワーアンプ等の近くに置くと、ハムが出る場合がありますのでご注意ください。
- 電源コードは本機専用です。付属のコード以外のご使用にならないでください。
- 長期間ご使用にならないときは電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。

4.各部の名称と機能

【フロントパネル側】

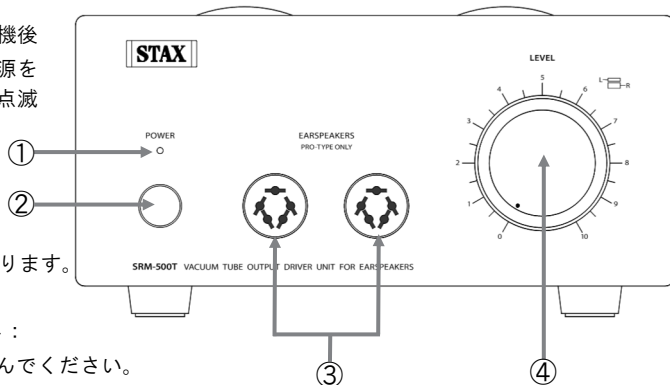
穴の開いた上面は通気口です。上に物を置かないでください。

- ① **電源表示 LED** : オレンジ色点滅→点灯
電源投入時約 30 秒間点滅し、ヒーター暖機後点灯状態になります。ヒーター暖機後に電源を OFF にし、すぐ電源を ON にしても同様に点滅します。

- ② **パワースイッチ** : OFF ON
押して「ON」もう一度押すと「OFF」になります。

- ③ **PRO Type イヤースピーカー用コンセント** :
5ピンタイプのイヤースピーカーを差し込んでください。

- ④ **ボリュームツマミ** :
二重軸のツマミは連動して左右同時に回すことができます。左右アンバランスの場合は片方を指で固定し、もう一方を単独で回して音量を揃えることができます。手前がL-CH、奥側がR-CHです。



【リアパネル側】

- ⑤ **XLR入力端子** :
XLRバランス出力端子を装備したオーディオ機器を接続します。

- ⑥ **XLR極性表示** :
本機のXLRの極性は、
1: SHIELD
2: HOT
3: COLD
3番HOTのソース機器をご使用の場合は、市販の極性変換のアダプター又は極性変換ケーブルをご用意ください。

- ⑦ **SOURCE切換えスイッチ** : XLR入力かRCA入力を選択します。工場出荷時は「RCA」側にセットされています。
ご注意！本機は入力信号の切換えはできません。ご使用にならないコードは外してご使用ください。

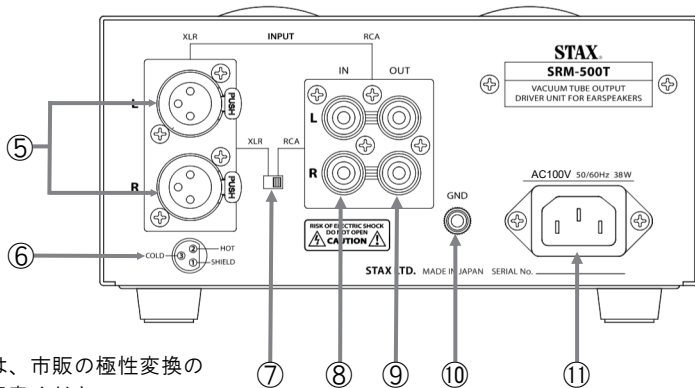
- ⑧ **RCA入力端子** : RCA出力端子のオーディオ機器を接続してください。

- ⑨ **PARALLEL OUT (スルーアウト端子)** :
パラレル出力端子は、RCA (XLRのHOT側のみ) に接続されたソースの信号がそのまま出力されます。ラウドスピーカー用のアンプの入力端子や他のドライバーユニットなどへ接続する時にご使用ください。パラレル出力端子に接続した機器を使用しない場合は、ケーブルを外してください。

* 稀に、スルーアウト端子に接続した機器の電源が OFF の場合、ソース機器の信号が歪む場合がございます。この場合は、その機器の電源を ON にするか、ケーブルを外してください。弊社の SRM シリーズを増設してお使いになる場合、ボリュームをゼロにしておけば SRM の電源の ON/OFF に影響されません。

- ⑩ **GND** : アース端子
ハムが出る場合など、他の機器のアース端子又はネジなどの金属部分や大地アース等に接続します。使用するコードの種類・材質、コードの太さ・色など不問です。入手しやすいものをご使用ください。

- ⑪ **ACインレット** : 付属の電源コードを差し込んでください。

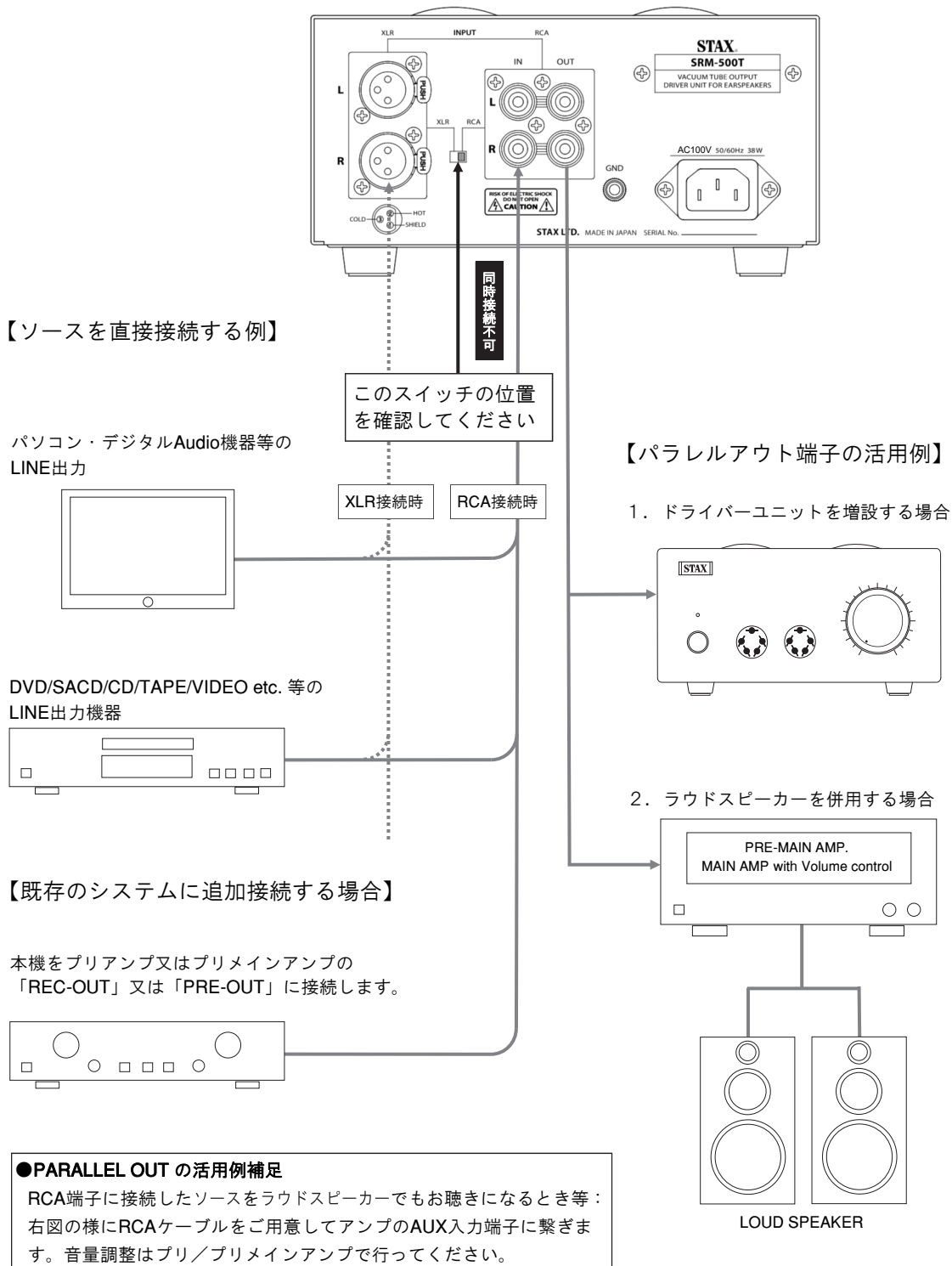


5.接続の例（リアパネル側）



RCAとXLRの入力端子は同時に接続することはできません。

使用しない機器のケーブルは必ず外してください。



6. サービスノート

音が出ない

- 電源コードはコンセントに差し込まれていますか。
- パワースイッチはONですか。
- パネル前面のLEDは点灯していますか。
- 接続したケーブルに異常はありませんか。
- プリアンプやプリメインアンプに接続している場合、アンプのセレクタースイッチは接続したソースを選択していますか。お使いのアンプの取扱説明書を参照してください。

音が歪む

- 電源電圧は95～105Vの間にありますか。
- 音量を上げ過ぎると歪みます。機器のため、耳のためにもご注意ください。
- パラレル出力端子に接続した機器（レコーダーやアンプ）の電源がOFFの時、機器の入力インピーダンスが極端に下がってソース機器の信号が歪んでしまうことが稀にございます。この場合は、その機器のケーブルを外してお使いください。本機（又は弊社のSRMシリーズ）はボリュームをゼロに絞っていれば電源を切った状態でも上記の症状は出ません。

左右で音が揃わない

- 入力信号は正常ですか。
- ケーブルなどに接触不良はありませんか。
- ボリュームをゼロに絞った時、音が出始める位置が左右で若干揃わないことも有ります。これは、不良では有りませんのでご安心下さい。
- 左右でアンバランスが発生する場合、二重軸のツマミを調整することによって揃える事ができます。

ハム音が出る

- 入力端子は正しく接続されていますか。
ケーブルのアース側が浮いているとハム音が出る場合があります。
- ブーンというハムが出る時は、本体のアース（GND）と他の機器のアース又は金属部分と接続してみてください。また、アルミサッシの窓枠の金属部分につないでも効果を確認しています。
- 接触不良はありませんか。
- 電源電圧は95～105Vの間にありますか。
- 本機の筐体は非磁性アルミ合金を多用しているため、機器同士でハムを誘発する場合があります。特に大型トランスを使用した機器や電子レンジが近くにありませんか。それぞれの距離を離してください。
- 電源を切った直後しばらくの間ハム音などが出ることがありますが、故障ではございません。

その他故障と思われる症状が出ましたら、お買い求めになった販売店もしくは、弊社サービス課：TEL: 049 (293) 1891 までお問い合わせください。

弊社ホームページでも受付しております。 <https://stax.co.jp>

お願い：製品をお送りになる場合は故障箇所早期発見のため症状を詳しく書いたメモを同封し、製品の梱包箱又は一回り大きな段ボール箱に入れ、宅配便にてお送りください。

7. 規格

- 周波数特性 : DC ~ 90kHz / +0, -3dB (SR-L500 1台使用時)
- 定格入力レベル : 100mV / 100V 出力時
- 最大入力レベル : 30V r.m.s./ボリューム最小時
- 増幅度 : 60dB
- 高調波歪 : 0.01%以下 (1kHz/100Vr.m.s.出力時)
- 入力端子 : RCA入力又は XLRバランス入力--排他使用 (信号の切換はできません)
- 入力インピーダンス : 50KΩ (RCA) / 50KΩ×2 (XLR)
- 最大出力電圧 : 300V r.m.s./1kHz
- 標準バイアス電圧 : DC 580V
- 電源電圧 : AC100V ± 5%, 50Hz / 60 Hz
- 消費電力 : 38W
- 使用温度範囲 : 0 ~ 35°C 90%以下 (但し結露しないこと)
- 外形寸法 : 195 (W) × 102 (H) × 346 (D) mm 本体のみ
VR ツマミ (19), アース端子 (11) を含む場合 : 376 (D) mm
- 重量 : 3.4Kg
- 備考 : スルーアウト端子 (RCA) 付
- 真空管 : 6CG7(6FQ7) x 2

- 本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は 100V / 日本国内専用です。電源電圧は変更できません。
- 製品の保証は日本国内のみ有効です。
- AC100V only: The power supply voltage cannot change.
- The warranty of this products is valid in Japan.

付属品

| | |
|-----------|---|
| 電源コード | 1 |
| RCAピンケーブル | 1 |
| 保証書 | 1 |
| 取扱説明書 | 1 |

本機の真空管を交換する場合は必ず弊社サービス課までお問い合わせください。
不適格な真空管をそのままお使いになると本機が故障したりすることがございます。

お手入れについて

- 電源コードをコンセントから抜き、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは布を水に浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールは、塗装や印刷などが剥げることがありますので使用しないでください。
化学雑巾は付属の説明をお読みいただき、使用できるか確認の上ご使用ください。

試聴室のご案内

●事前にご予約を頂けましたら、当社にて全製品の試聴ができます。

●弊社サイトの予約フォームにてご予約ができます。

お急ぎの場合は直接営業部(049-293-1891)までご連絡ください。

●営業時間

平日(月～金) 9:00～12:00, 13:00～17:00

●試聴機材環境 LUXMAN製 DU-05u

※弊社試聴室にて各種の音源を用意しておりますが、お好みの音源(CD,SACD等)もご使用になれます。

●交通アクセス

【住所】〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑3798-1

【電車】東武東上線「みずほ台」駅東口よりタクシー約10分 《竹ノ内工業団地内》

【バス】東武東上線「志木」駅東口より、

東武バス2番 《下南畑ゆき》または《ららぽーと富士見ゆき》

「下南畑」下車(約20分程度)、徒歩5分位

【車】関越自動車道「所沢IC」《さいたま市方面》より約15分

下南畑交差点を左折、GSのある交差点を左折してすぐ右折(とんぼ薬局が目印)

※カーナビ検索は上記住所を入力してください。



STAX®

有限会社スタックス

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑3798-1

TEL:049-293-1891 FAX:049-293-1892 URL: <https://stax.co.jp>

※※電話・FAXによるお問い合わせについて※※

電話番号：049-293-1891

FAX番号：049-293-1892

受付時間：9:00～12:00, 13:00～17:00

受付日：弊社休日および祝日を除く月曜～金曜